



世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 20 ページある。ただし、白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
5. 問題が指示する数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題冊子は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

東地中海とその周辺部は、東西南北さまざまな地域と多くの水路・陸路で結ばれており、古代以来非常に多くの人々の行き交う舞台となった。海に直接面した都市だけでなく、ダマスカス、パルミラ、イエルサレムなど東岸内陸部の都市や、さらに東方の都市なども、こうした人々の活動の拠点として古くから繁栄した。

アレクサンドロスの遠征に始まる約 300 年間は、東地中海を出発点に、三大陸にまたがる広大な文化圏が形成され、ヘレニズム時代と呼ばれている。この時代に、ギリシア文明とオリエント文明が融合し、新たな精神文化や生活態度を生み出す基盤となった。

4 世紀末以降、東地中海世界は東ローマ帝国の支配下に入った。この帝国は、その首都の旧名にちなんで、通常はビザンツ帝国と呼ばれる。この帝国のもとで、ヘレニズム時代にさかのぼる諸都市は、なおも繁栄を続けることができた。またユスティニアヌス帝の時代に、ビザンツ帝国は一時的にかつてのローマ帝国の領域をとりもどす勢いを見せた。また、この帝国は東地中海だけでなく、イタリア半島のラヴェンナやシチリア島など、西部にもその拠点を持っていた。

7 世紀におけるイスラーム教の成立とその勢力拡大は、地中海沿岸部の状況を大きく変えた。ビザンツ帝国は、領土の重要な部分を失なったが、統治体制の立て直しを図り、なおも数百年間、東地中海の重要な勢力としての地位を維持した。

東地中海の北側においても、古代から中世にかけていくつかの大きな変化が生じた。人々の移動は住民構成にも大きな影響を与えたが、スラヴ人の移動もその一つである。東ローマ帝国から遠く離れた北部には、新たな勢力としてのキエフ公国が登場し、長い変遷の後、ロシアという大国として成長していくことになる。

ローマ帝国の衰退の後、停滞していた西ヨーロッパは、中世の半ばによく安定の時代を迎えると、その勢力を周辺へと拡大していくことになる。その顕著な現れの一つが、11 世紀末に始まる十字軍遠征であった。この事件を一つのき

っかけとして、地中海の東西を結ぶ交易が活発となり、それは西ヨーロッパを経済的に大きく飛躍させる原動力となっていく。⁽¹⁰⁾

近世以降の東地中海の情勢を大きく変えたのは、13世紀末に始まるオスマン帝国の拡大である。この国はヨーロッパにも勢力を広げ、かつてのビザンツ帝国の中心部を拠点としつつ、⁽¹¹⁾三大陸にまたがり、多様な人間集団や文化を包み込む大帝国となった。そして近代になってヨーロッパ列強の進出に直面し、徐々に解体していくまで、東地中海世界の一体性を基本的に維持し続けたのである。⁽¹²⁾

設問 1. 下線部(1)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の聖地とされる。
- B. ヘブライ人はエルサレムを拠点として隊商交易を組織し、紅海の海上交易を開拓した。
- C. ダヴィデがヤハウエの神殿を建てた。
- D. 11世紀にセルジューク朝の支配下にはいった。
- E. アイユーブ朝のサラディンが十字軍国家から奪回した。

設問 2. 下線部(2)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 「ヘレニズム」は「ギリシア風の思想・文化」を意味する。
- B. オリエン트에ギリシア風の都市が多数建設された。
- C. 中央アジアでギリシア人がバクトリアを建国し、ヘレニズムの文化を開花させた。
- D. 代表的な彫刻作品として「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン」がある。
- E. ポリスを政治的基盤として重視するエピクロス派の哲学が流行した。

設問 3. 下線部(3)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. テオドシウス帝の死去にともない、ギリシア語が公用語となった。
- B. 官僚制を基盤に、皇帝が専制的権力を行使した。
- C. ビザンツの金貨は、西ヨーロッパからインド洋方面まで流通した。
- D. 中国から取り入れた技術をもとに、絹織物業の振興をはかった。
- E. 皇帝はコンスタンティノープル総主教任免権を行使した。

設問 4. 下線部(4)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. マケドニア朝に属する皇帝である。
- B. ヴァンダル王国を滅ぼしてイタリア半島支配権を回復した。
- C. コンスタンティノープルにハギア=ソフィア(聖ソフィア)聖堂を建てた。
- D. ポリビオスを登用して「ローマ法大全」を編纂させた。
- E. ローマ教皇グレゴリウス1世の布教活動を支援した。

設問 5. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 第一回ポエニ戦争の結果、ローマ帝国最初の属州となった。
- B. 12世紀前半、ノルマン人がビザンツ帝国から奪い、ナポリと合わせて両シチリア王国を成立させた。
- C. 中世にはアラビア語やギリシア語の文献のラテン語への翻訳活動の拠点であった。
- D. 1282年にフランス勢力に対する反乱が生じた。
- E. 1861年にイタリア王国に併合された。

設問 6. 下線部(6)に関連して、中世におけるビザンツ帝国に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ローマ教皇レオ3世の時代に、東西の教会は最終的に分裂した。
- B. 歴代の皇帝は、一貫して聖像禁止令を維持した。
- C. 軍管区制は、皇帝直属の司令官に軍事権のみを委ねる制度である。
- D. 屯田兵制によって増加した自由農民は、帝国を支える基盤になった。
- E. プロノイア制は、将軍や貴族に土地の管理権を世襲的に委ねる制度である。

設問 7. 下線部(7)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ウラル語族の言語を話す民族である。
- B. 移動する前は、カルパティア山脈北方を居住地としていた。
- C. 4世紀から5世紀にかけて、ローマ帝国への侵入を繰り返した。
- D. 西スラヴ人は、ポーランドやセルビアなどの国家を建設した。
- E. 南スラヴ人は、大半がローマ＝カトリックを受け入れた。

設問 8. 下線部(8)に関連して、キエフ公国およびロシアに関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ノルマン人の一派がノヴゴロド公国を建国した。
- B. ノヴゴロドは毛皮交易で栄えた。
- C. ウラディミル1世はビザンツ皇帝の妹と結婚し、ギリシア正教を受け入れた。
- D. キエフ公国の君主はツァーリの称号で呼ばれた。
- E. ビザンツ帝国の滅亡後、モスクワは「第3のローマ」と位置づけられた。

設問 9. 下線部(9)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 第一回十字軍の際に成立したドイツ騎士団は、16世紀にバルト海沿岸部に拠点を移した。
- B. フランス王ルイ9世は北アフリカ攻撃を試みた。
- C. 十字軍遠征に伴い、西欧では大規模なユダヤ人迫害事件が生じた。
- D. 教皇は十字軍遠征を利用して、東西教会の統一を図った。
- E. 十字軍の輸送を担当したイタリア諸都市は大きな利益をあげた。

設問10. 下線部(10)に関連して、中世のイタリア諸都市が展開した東方貿易で、東方からもたらされた主要な商品として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 香辛料
- B. 染料
- C. 宝石
- D. 絹織物
- E. 銀

設問11. 下線部(11)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. アナトリア北西部で最初の勢力を築いた。
- B. サファヴィー朝から、メッカとメディナの保護権を継承した。
- C. キリスト教徒やユダヤ教徒の共同体には自治を認めた。
- D. 帝国の中心部では、州・県・郡からなる行政機構が整えられた。
- E. インド洋方面に進出し、紅海でポルトガルと勢力を競った。

設問12. 下線部(12)に関連して、オスマン帝国のスルタン、バヤジット1世が1396年にヨーロッパの連合軍を破った戦いの場所を一つ選び、マークしなさい。

- A. コソヴォ
- B. モハーチ
- C. アンカラ
- D. ニコポリス
- E. プレヴェザ

設問13. 下線部(ア)に関連して、アラブ人イスラーム教徒が、征服地に家族をともなって移住し、建設した軍営都市を何と呼ぶか、解答欄に記入しなさい。

設問14. 下線部(イ)に関連して、1878年にイギリスがオスマン帝国から行政権を獲得した東地中海の島の名を解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

オセアニアは、太平洋に点在する諸島と、オーストラリア大陸、ニュージーランドを合わせた広大な地域を指す。他の大陸から遠く離れているために、大航海時代における「ヨーロッパ人による発見」も遅かったが、16世紀半ば以降、この地域にもしだいにヨーロッパ人の探検活動がおよび始めた。

現在、⁽¹⁾イギリス連邦を構成している⁽²⁾オーストラリアおよびニュージーランドでは、長い間先住民が孤立した文化を保持していたが、近代以降はいずれもイギリスの勢力下に組み込まれた。

太平洋の島々は、19世紀末になると、海上交通の戦略的拠点として重要視されるようになり、列強が次々に進出した。そのため、ほとんどすべての島々が植民地や保護領となった。⁽³⁾

東南アジア地域は、太平洋とインド洋を隔てる諸島と大陸部に大きく分かれるが、やはりいずれも列強の進出の舞台となり、多くの地域が植民地化された。⁽⁴⁾

これら太平洋の島々や東南アジア地域は、いずれも、この地域に進出した欧米勢力によって経済的に利用され、その社会や自然環境は大きく変貌せざるを得なかった。⁽⁵⁾

第一次大戦後、世界各地で植民地独立の要求が高まる中、東南アジアでもそうした運動が起こり、第二次大戦後にはほとんどの地域が独立した。また、やや遅れて太平洋諸島でも多くの独立国が新たに登場した。それまで、ヨーロッパ、とりわけイギリスとの関係が深かったオーストラリアやニュージーランドも、20世紀の末になると、これらの太平洋の国々や、アジア諸国とのつながりを一層重視するようになった。⁽⁷⁾

設問 1. 下線部(1)に関連して、17世紀半ばに南太平洋を探検したオランダ人の名前を下から一つ選んでマークしなさい。

- A. マゼラン B. クック C. タスマン
D. ピアリ E. カボット

設問 2. 下線部(2)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. イギリスの植民地となって以来、多くの流刑囚が送り込まれた。
- B. 入植者に土地を奪われ、迫害されたマオリ族は激減した。
- C. 19世紀以降、牧羊業が発達した。
- D. 1850年代に金鉱が発見され、移民が増加した。
- E. 1880年代から、有色人種の移民が制限された。

設問 3. 下線部(3)に関連して、19世紀後半以降における太平洋地域への列強の進出に関する次の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ニューギニアは、オランダ・ドイツ・イギリスによって分割された。
- B. サモア諸島は、ドイツとアメリカによって東西に分割された。
- C. 日本は、1876年に小笠原諸島を領土とした。
- D. ハワイ王国は1893年のクーデターで崩壊し、親米的な政府が成立した。
- E. アメリカは、アメリカ＝スペイン戦争の結果、カロリン・マリアナ・マーシャル・パラオの諸島を獲得した。

設問 4. 下線部(4)に関連して、16世紀末から18世紀半ばまで、ジャワ島で香辛料や米の交易で栄えた王国の名として、適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. マタラム王国
- B. アチェ王国
- C. マジャパイト王国
- D. ジョホール王国
- E. マイソール王国

設問 5. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 17世紀にバタヴィアは香辛料貿易の拠点となった。
- B. フィリピンでは18世紀後半からスペインによって、サトウキビ・マニラ麻・タバコなどのプランテーションが経営された。
- C. 19世紀に、オランダ政庁はジャワ島に、コーヒー・サトウキビ・藍などの商品作物を導入した。
- D. フランスは、マレー半島で錫鉱山の開発を進めた。
- E. 欧米の進出後、太平洋諸島の人々は、ココヤシやサトウキビなどの農場での労働につかされた。

設問 6. 下線部(6)に関連して、第二次大戦後のアジア・太平洋諸国の動向に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 1960年代以降、トンガ・フィジー・パプアニューギニアなどが独立を果たした。
- B. フィリピンでは、マルコス大統領の独裁のもとで開発が進められた。
- C. シンガポールは、リー=クアンユー首相のもとで1965年にイギリスから独立した。
- D. イギリス連邦の自治領として、マラヤ連邦が独立した。
- E. インドネシアでは1965年に軍部クーデターが起こり、共産党が弾圧された。

設問 7. 下線部(7)に関連して、アジア・太平洋地域の近年の情勢に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 1971年に、南太平洋の諸国の地域協力機構として南太平洋フォーラムが創設された。
- B. 中国は、返還後の香港とマカオに一国二制度方式を適用した。
- C. 1989年、オーストラリア、ニュージーランド、当時のASEAN加盟国の8カ国により、アジア太平洋経済協力会議が創設された。
- D. ASEAN各国は、1990年代に入り、ASEAN自由貿易圏(AFTA)を結成した。
- E. 東ティモールの紛争解決のため、国連東ティモール暫定統治機構が設置された。

設問 8. 下線部(ア)に関連して、コロンブスがインドへの近道として西回り航路を考えるきっかけとなった、大地は球形であるとする説を唱えたフィレンツェの天文学者の名を解答欄に記入しなさい。

設問 9. 下線部(イ)の基本原則として、自治領は本国と対等であることを定めた文書の名を解答欄に記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

北京条約の結果、ヨーロッパ列強による本格的な進出の舞台となった中国では、社会不安を背景に、自己防衛のためにさまざまな結社をつくる動きが見られた。その最大のものが、南部で十数年にわたって続いた太平天国の乱である。これは郷土義勇軍や外国人の協力で平定されたが、その後の中国における民族運動に大きな影響を与えた。乱の後、清朝は、富国強兵と経済再建をめざし、洋務運動と呼ばれる革新に着手した。⁽¹⁾⁽²⁾

19世紀末以降、清朝は日本を含めた列強のさらに激しい進出にさらされた。列強はそれぞれ、清朝の領土の一部を租借して拠点としたほか、鉄道の敷設権獲得なども進出の手段とした。清朝はこうした事態に直面し、より徹底した改革策を打ち出さざるを得なくなったが、意見の対立から混乱が続いた。⁽³⁾⁽⁴⁾

他方、華僑や留学生の間からは清朝の打倒をはかる運動がおこり、その中心人物となった孫文は各地で武装蜂起を繰り返した。そして1911年に生じた軍隊の蜂起を発端に辛亥革命がおこり、翌1912年、中華民国が誕生した。しかし革命勢力の間でさらに紛争が続き、政治や社会は混乱した。こうした情勢のもと、陳独秀らを中心に、儒教道徳を否定して西洋近代の文化・思想を広める文学革命と呼ばれる運動がおこり、人々に社会変革の意識を広めていった。⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾

第一次大戦は、中国の人々の間に、近代国家としての自立の機運をさらに高める機会になった。1920年代に入ってから、中国ではなおも政治的混乱が続いたが、1925年に生じた事件をきっかけに、反帝国主義運動はさらに高まった。これを背景に成立した国民政府は、蔣介石を指導者として北伐を実行し、1928年には全土統一をなしとげた。その過程で、共産党と対立し、両者の間で内戦が生じたが、日本の侵略が激しさを増すと、1937年に和解し、共同で対日抗戦にあたることになった。日本は国民政府を激しく攻撃し、また南京に親日政権を設立させたが、戦争を有利に進めることはできなかった。⁽⁸⁾⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾⁽¹⁾

日本が第二次大戦で敗北した後、中国では再び国共内戦が生じた。政治の腐敗や経済の混乱で民衆の支持を失った蔣介石は台湾に逃れ、毛沢東は1949年9月に北京で中華人民共和国の成立を宣言した。⁽¹¹⁾

設問 1. 下線部(1)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 洪秀全が結社「拜上帝会」をつくったのが発端である。
- B. 漢人の地主や官僚が主な支持者であった。
- C. 太平天国軍は、清朝側からは長髮族などと呼ばれた。
- D. アヘン吸引を禁止し、纏足^{てんそく}を廃止した。
- E. スローガンとして「滅満興漢」をかけた。

設問 2. 下線部(2)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 中心人物として、曾国藩、李鴻章、康有為などがあげられる。
- B. 基本的な方針として「中体西用論」をとった。
- C. 兵器工場、紡績工場、汽船会社の設立を進めた。
- D. 「同治の中興」の時期とほぼ一致する。
- E. 清仏戦争や日清戦争でその限界を明らかにした。

設問 3. 下線部(3)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 鉄道は義和団による襲撃の対象となった。
- B. ロシアは三国干渉の代償に、清から東清鉄道敷設権を獲得した。
- C. シベリア鉄道と東清鉄道を結ぶ線は、1905年までに完成した。
- D. 清朝は外国からの借款獲得を目的に、幹線鉄道の国有化を進めた。
- E. 第一次大戦後、日本は南満州鉄道株式会社を設立した。

設問 4. 下線部(4)に関連して、1890年代以降、清朝がおこなった施策として、

適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 軍機処を廃止して責任内閣制を施行した。
- B. 科挙を廃止した。
- C. 憲法大綱を発表した。
- D. 議員選挙を実施して国会を開議した。
- E. 多数の官僚や留学生を欧米や日本に派遣し、近代科学や政治・経済・文化を学ばせた。

設問 5. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ハワイで興中会を結成した。
- B. 日本で中国同盟会を結成し、その総理となった。
- C. 辛亥革命で臨時大総統に就任した。
- D. 清の皇帝の退位と共和政の維持を条件に、袁世凱に臨時大総統の地位を譲った。
- E. 五・四運動に影響を受け、中華革命党を組織した。

設問 6. 下線部(6)の後の中国に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 革命派は国民党を結成したが、議会選挙では敗北した。
- B. 外モンゴルが独立を宣言した。
- C. ダライ=ラマ 13世が独立を宣言した。
- D. 袁世凱の帝政計画反対を名目に決起した軍人たちが、軍閥として地方政権をつくった。
- E. 北洋軍は、袁世凱の死後、安徽派と直隸派に分裂した。

設問 7. 下線部(7)の推進者の一人で、マルクス主義の研究を進めた人物としてももっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 梁啓超 B. 魯迅 C. 李大釗
D. 胡適 E. 劉少奇

設問 8. 下線部(8)が終了した後、1920年代前半までの中国に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ソヴィエト政府はカラハン宣言により、旧ロシア政府が中国に有した帝国主義的特権を放棄した。
B. 中国は、ヴェルサイユ条約への調印を拒否した。
C. コミンテルンの支援を得て、中国共産党が結成された。
D. 九カ国条約締結により、日本は山東省の旧ドイツ権益を中国に返還した。
E. アメリカおよびイギリスが、中国の関税自主権を認めた。

設問 9. 下線部(9)は日本人経営の工場での労働争議が発端となった。この争議が生じた都市としてもっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 南京 B. 上海 C. 広州
D. 武漢 E. 徐州

設問10. 下線部(10)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 浙江財閥の支援を受けた。
B. 張学良と連携することで、全国統一をなしとげた。
C. ドルに連動した銀行券を法定通貨とすることで通貨を統一した。
D. 南京が陥落した後、武漢へ、さらに重慶に移動した。
E. アメリカ・イギリス・フランス・ソ連は援蔣ルートを通して国民政府を支援した。

設問11. 次のA～Eのうち、下線部(11)をもっとも早く承認した国を選び、マークしなさい。

A. フランス

B. イタリア

C. カナダ

D. イギリス

E. 日本

設問12. 下線部(ア)が創刊した啓蒙雑誌の名称を解答欄に記入しなさい。

設問13. 下線部(イ)の政権の中心となった人物の名を解答欄に記入しなさい。

〔IV〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

第二次大戦はこれまでに経験したことの無い惨禍を人類にもたらした。平和を維持するにあたって、従来の体制では不十分であることを実感した各国は、新たな国際機構の必要性を痛感し、その実現に向けて努力した。⁽¹⁾

ヨーロッパもこうした新しい体制のもとで平和を築く努力を続けた。しかし戦後のヨーロッパは、東西冷戦の深刻化、そしてヨーロッパの地位の相対的低下という状況の中で、困難な道のりを歩むことになる。

戦争直後、アメリカはヨーロッパにおける左翼勢力の拡大防止に力を注ぎ、西側陣営の結束強化に努めた。⁽²⁾ 敗戦国となったドイツおよびオーストリアは⁽³⁾ 連合国による共同管理下に置かれ、東西対立の影響を直接受ける地域となった。フランスは植民地の独立運動に直面するなど困難な対応を迫られたが、大統領権限を強化したド＝ゴールの政権下で、自主的な路線を模索した。イギリス連邦という基盤を持つ⁽⁴⁾ イギリスは大陸諸国とは異なる路線を歩んだ。アイルランドはイギリス連邦を事実上離脱していたが、⁽⁵⁾ 北アイルランドではなおも紛争が続いていた。⁽⁷⁾ として⁽⁶⁾ スペイン、ポルトガル、イタリアなどの南欧諸国やギリシアは、本来、社会的基盤が西欧と異なっていたため、政治的にも独特な展開をたどった。

こうしてヨーロッパの西側諸国はそれぞれ多くの問題を抱えていたが、国家の枠を超えた協力により、ヨーロッパの安定と繁栄に努め、1967年にはヨーロッパ共同体(EC)が成立した。フランスの大統領⁽⁷⁾ ミッテランは、西ドイツ(後にドイツ)の首相⁽⁷⁾ コールと協力しつつ、欧州統合に向けて長い努力を重ねた。またソ連の影響下に置かれ、「鉄のカーテン」によって隔てられてきた⁽⁸⁾ 東欧諸国に対しても、関係改善の試みが続けられた。1975年にはソ連書記長⁽⁸⁾ ブレジネフの提案にもとづく⁽⁹⁾ 全欧安全保障協力会議が開かれ、ヨーロッパの緊張緩和についての意見が交わされた。また、⁽⁴⁾ 核兵器開発競争が進むなかで、その危険性を訴える声もしだいに強まり、軍縮に関する議論が徐々に進むようになった。

設問 1. 下線部(1)に関連して、国際連合の設立過程およびその活動・組織に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 大西洋憲章で新国際機関の設立が示された。
- B. ダンバートン=オックスで米・英・ソ・中四カ国会議が開かれて国際連合憲章草案がまとめられた。
- C. 1945年のワシントン会議において国際連合憲章が採択された。
- D. 1948年の総会で、世界人権宣言が採択された。
- E. 専門機関として UNESCO, WHO, ILO などがある。

設問 2. 下線部(2)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. フランスでは共産党が勢力をのばした。
- B. マーシャル=プラン受け入れのために、ヨーロッパ経済協力機構が結成された。
- C. イギリス軍占領下のギリシアで、共産党の武装反乱が拡大した。
- D. フランス・イタリア・ベネルクス3カ国が西ヨーロッパ連合条約を締結した。
- E. 12カ国からなる北大西洋条約機構(NATO)が結成された。

設問 3. 下線部(3)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ドイツにおける米英仏の占領地区で通貨改革がおこなわれ、新通貨としてマルクの使用が開始された。
- B. ドイツにおけるソ連管理地区では社会主義統一党が成立し、東ベルリンを首都に国家が形成された。
- C. 西ドイツではキリスト教民主同盟のアデナウアー政権の下で経済の回復が図られた。
- D. 西ドイツは1954年のパリ協定で主権を回復し、再軍備が認められた。
- E. オーストリアはオーストリア国家条約によって独立し、NATOに加盟した。

設問 4. 下線部(4)の政権下のフランスに関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. モロッコとチュニジアの独立を承認した。
- B. 世界で4番目の核保有国となった。
- C. NATOへの軍事協力を拒否した。
- D. 五月危機(五月革命)と呼ばれる、学生や労働者の反体制運動が起こった。
- E. イギリスのEEC加盟に反対した。

設問 5. 下線部(5)に関する以下の説明のうち、適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. アトリー内閣は重要産業の国有化を進めた。
- B. 1960年に北欧諸国やスイス・オーストリアなどとともヨーロッパ自由貿易連合を結成した。
- C. ウィルソン内閣は経済危機への対応のためポンドを切り下げた。
- D. サッチャー内閣は自由化路線を推進した。
- E. メージャー内閣はアメリカに協力してイラク戦争に介入した。

設問 6. 下線部(6)に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. スペインとポルトガルは、第二次大戦においては中立の立場をとった。
- B. 第二次大戦後、スペインはイギリスからジブラルタルを獲得した。
- C. ポルトガルでは1974年に独裁体制が崩壊し、王政が復活した。
- D. 第二次大戦後から1960年代にかけて、イタリアでは主に共産党が政権を担当した。
- E. ギリシアでは1974年に軍事政権が成立し、民主化の動きは停滞した。

設問 7. 下線部(7)の在任中に実現したこととして、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 欧州議会における、加盟国民による直接選挙の導入
- B. 欧州通貨制度の発足
- C. 単一欧州議定書の発効
- D. ユーロの導入
- E. EU憲法の採択

設問 8. 下線部(8)に関して、第二次大戦後の東欧諸国に関する以下の説明のうち、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 1948年2月にハンガリーでクーデターが生じ、共産党が政権を獲得した。
- B. 自主路線をとったルーマニアは、1948年にコミンフォルムから除名された。
- C. 1956年にポーランドのポズナニで民衆の抗議行動が発生したが、ソ連の軍事介入により鎮圧された。
- D. 1980年代、ブルガリアでは自主管理労組「連帯」が結成された。
- E. 1999年、アルバニア人抑圧を阻止するという理由で、NATOは国連決議なしにユーゴスラヴィアを空爆した。

設問 9. 下線部(9)が開催された都市名として、もっとも適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ローマ
- B. アムステルダム
- C. ウィーン
- D. ヘルシンキ
- E. ワルシャワ

設問10. 下線部(ア)に関連して、アイルランド独立を主張して1905年に結成された組織の名称を解答欄に記入しなさい。

設問11. 下線部(イ)に関連して、核兵器禁止を目的に1957年にカナダで開かれた会議を呼びかけた、イギリスの哲学者の名前を解答欄に記入しなさい。